

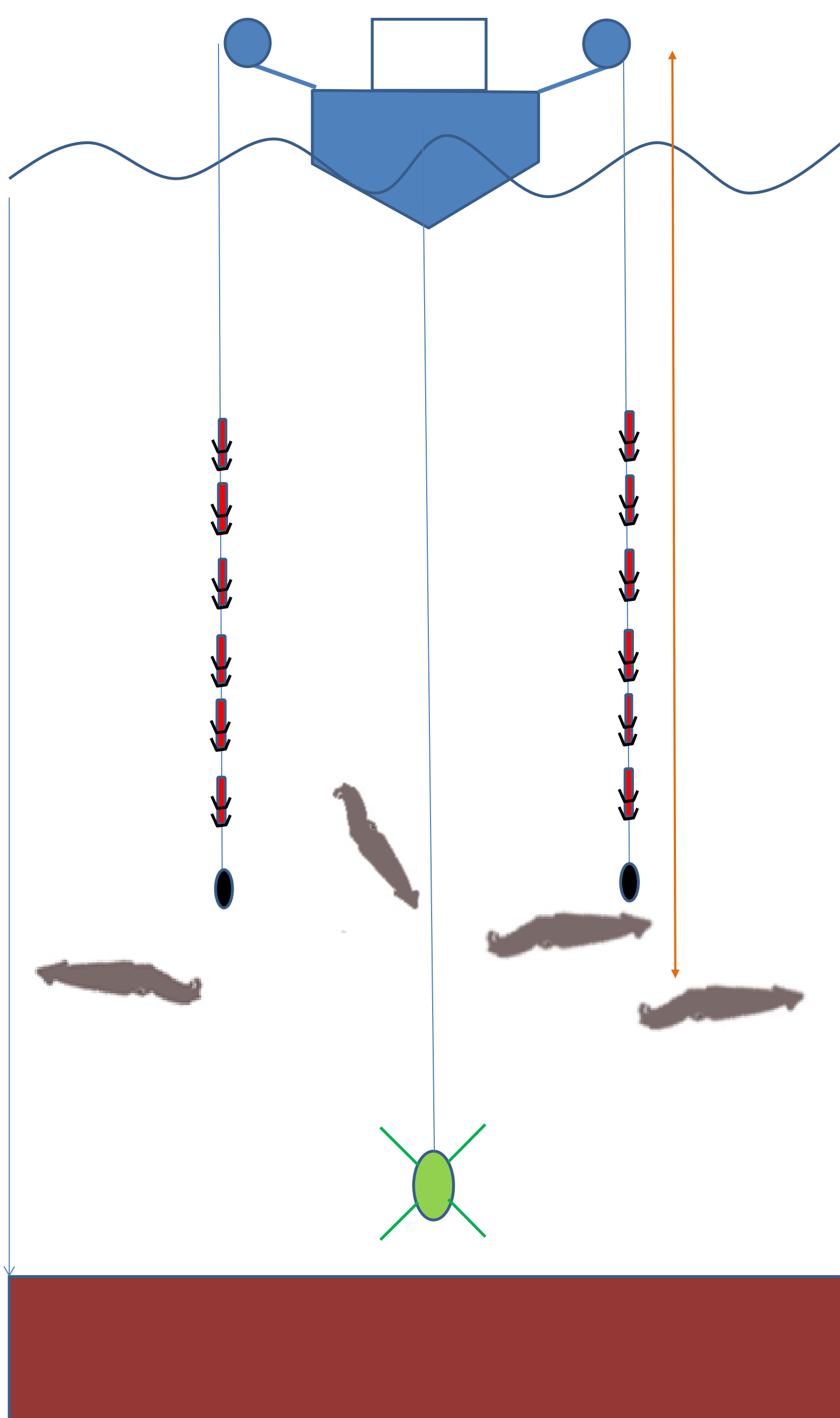
灯光の活用と省エネ型漁船による効率的生産技術の開発

背景と実証する技術

昼間のスルメイカ釣りにおいてLED灯光を利用して効率的に生産するシステム、ならびに省エネ型漁船を開発し、収益性を高める。

1 昼イカ釣り漁法の開発

(リーダー：水産総合研究センター水産工学研究所)

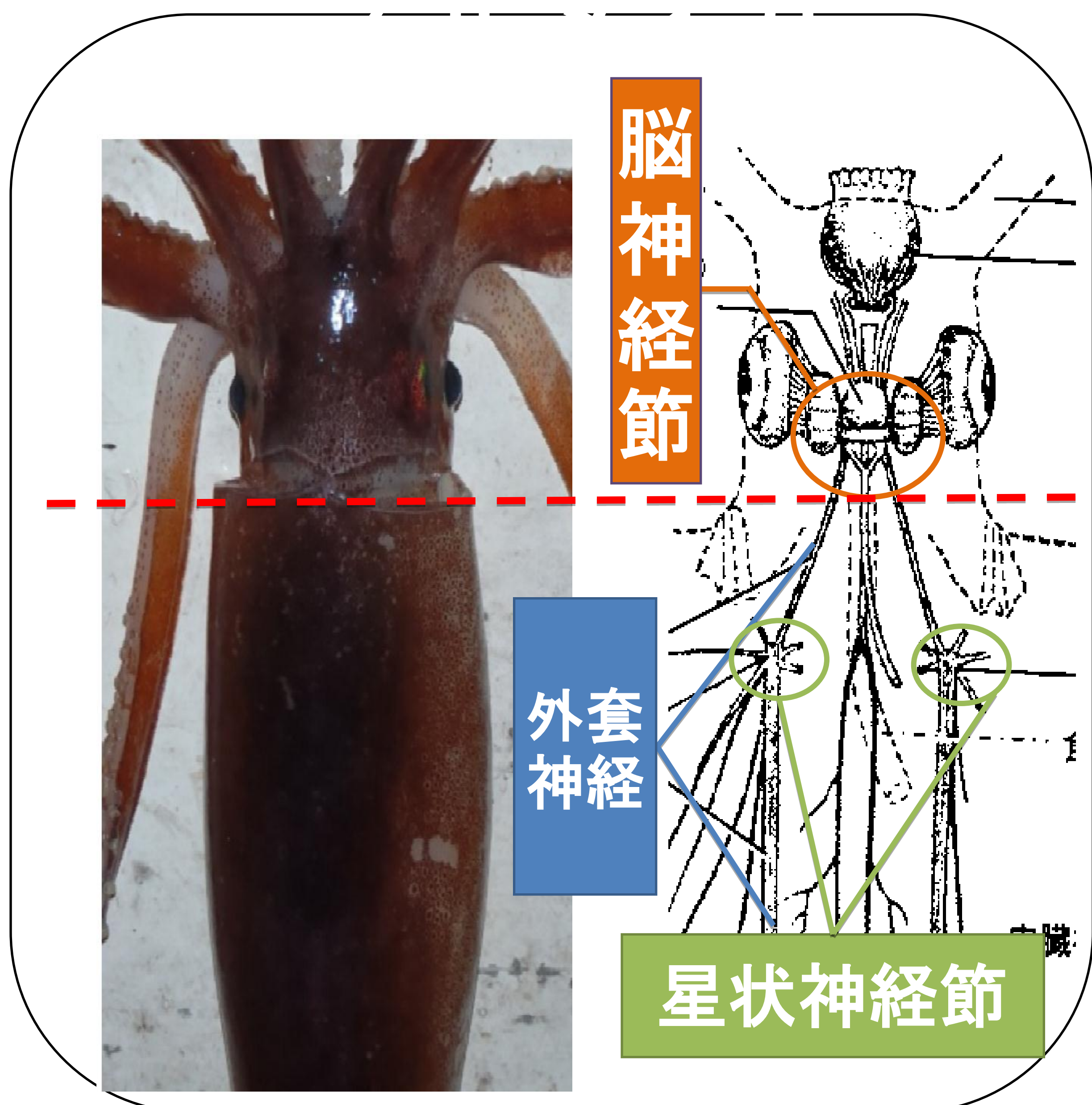


昼間水深150m~200mの海底にいるスルメイカをLED水中灯を用いて威嚇し、より浅い深度帯で釣獲することにより、漁獲効率を高め収益性の確保と漁獲物の高鮮度化を図ります。

イカが浮上したところを効率的に釣獲します。



イカを浮上させるためにLED水中漁灯を用います。



スルメイカの星状神経遮断法による鮮度保持



イカ活チャ器

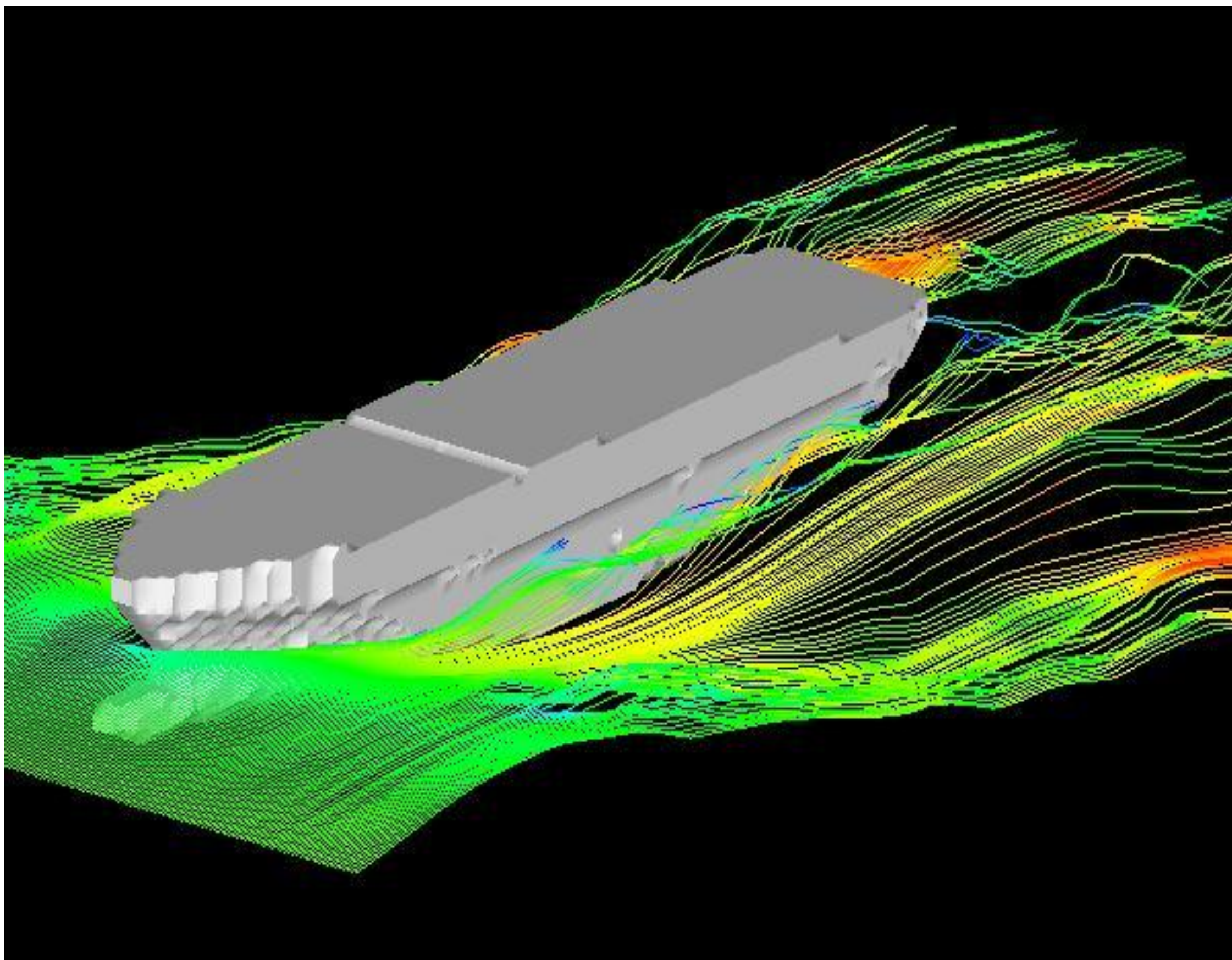
2 省エネ型漁船の開発

(リーダー：水産総合研究センター水産工学研究所)

先進の研究手法を適用することによって画期的な省エネ漁船を開発します。



小型サンマ棒受け網漁船は、過剰装備で高速往航するので、燃料を多量に消費し、省エネ化が重要であるが、船型開発がされず未開発の漁船種であった。



小型サンマ漁船に、高度船型開発技術を導入、科学的操業計画の導入により画期的な省エネ化、燃料消費量削減50%を目指します。

船首部分における波が減少し、大幅な省エネ化